

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>入居者様と職員と一緒に・ゆっくり・楽しい毎日を地域の中で具現する為に「声なき声を聞き、見えないところを察する」というサービスの至高を理念として目指し、取り組んでいる</p>	
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>ホームの運営理念は、毎日朝礼で述べて、運営理念の実現に取り組んでいる</p>	
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>年に2回は、家族や民生委員、区長との情報交換の場を設けて 認知症の理解をして頂いている</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>入居者様と洗濯物を干している時や、散歩に出かけた時の挨拶又行事があるときのお誘い、回覧版の持ち回り、そして近隣の人からの古新聞紙の束の持込など気軽にお付き合いさせて頂いている</p>	
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>地域の行事の盆踊りや、初午祭 老人会(にこにこサロン)等、利用者様と参加させて頂き地域の人々と交流を深めている</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	利用者は、土に馴染んでおられる事から、事業者独自の菜園を設け、利用者様が進んで草取り等をしてくださると、近隣の方も協力して下さるので、収穫できた野菜を、例え少しでも地域に配り話の輪を広げている。他に認知症予防教室を計画し実施している		
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	組織の仕組みには、事業所管理マニュアルに基づいて年2回自己評価・他者評価を実施し、評価をフィードバックして改善向上に取り組んでいる		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を通して、町内の現状や、ニーズを把握して、話し合いを行い交流をしている。サービス向上のためには、職員に報告し現状を知ってもらい対応につなげている		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	町や市の担当者の方には随時、連絡し又相談にのって頂いている		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	機会があるごとに地区社協や、家族の会で、権利擁護等を学び必要性のある利用者さんには、地区社協さんに相談している		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	併設している病院内での勉強会に参加し、身体拘束や、虐待防止を学び、職員と注意を払っている。又外部の講習会に参加しそれを随時復命研修し、徹底を図っている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	家族と職員で話し合い、又内容説明を充分に行い、理解・納得を図っている		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の面会時や、担当職員に自由に相談され、それを管理者に聞かせてもらい、相談された意見や、要望を毎日の朝礼時に職員と話し合い速やかに対応している		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会に来られた時に説明したり、面会が少ない家族には、電話でその時々々の状態を担当者と看護師、管理者で対応している。 毎月の誕生会のたより等を利用して配布している		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置している。意見箱には、入っていたことがないが、利用者満足度調査時に、本音を書いてくださっており、結果をホーム内で公表し、運営に反映させている。調査結果はいつでも自由に閲覧できる		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎朝の朝礼や、月1回の職員会議で意見交換を行い、運営・サービスの向上改善に反映させている		
17	利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	常に柔軟な対応ができるよう調整に努めている		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者の為ホームの馴染みの職員の移動は、行っていない。職員の事情でやむをえない時は、速やかにホームの理念を理解できる人を採用しダメージを防ぐ配慮をしている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	勉強会や、法人内外の研修会にに参加している。特に資格取得の為の勉強会には、積極的に参加している	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営推進会議や認知症関連会議を通して、他事業所を訪問したり、情報交換を行っている	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	福利厚生委員会を設けてあり、職員間の親睦、コミュニケーションが、図れている。又運営者は、一人ひとりに、声をかけてくださり、訴えや、要求を聞いて下さる	運営者が常に職員全員に必ずやさしい労いの言葉をかけて下さることで、職員のストレス解消の1つとなっている。夜勤者にも毎日電話で労をねぎらって下さっている。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	家族による利用者満足度調査を通して結果をホーム内で公表し、各自一念発起に努めている	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	心に寄り添うケアを心掛け、親身になって、利用者の困っている事、不安なこと等をよく聞き入れて職員一同で対応している。「だめです・いけません・できません」の禁句の実践により、信頼関係の構築が早いと感じている	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	主に管理者に相談がある。相談事はきちんと受け止めできるだけ多く語っていただき本音が聴けるように努力をしている	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要な支援を見極め、他のサービスが必要かどうかを、紹介、説明し、家族に選択してもらうよう努めている。入所後、ご本人が穏やかになっておられるかが目安になっている		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前に訪問していただき、ゆっくり家族の話を伺い、又ホームの雰囲気を感じていただき、サービスに関しての説明を行っている		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の先輩として尊敬の気持ちを持ち、あらゆる場面での一寸した言葉を受け止め、感謝の意を表したり、感心させられたことを素直に表し、利用者との信頼関係を築いている		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時や、面会の少ない家族には、電話で、日頃の様子を説明報告する事で、利用者に対する情報を共有して、本人を支えている。又、外泊、外出支援を行っている		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会時には、利用者の状態を説明し、利用者と共にお茶を飲んだり話したりして過ごす場所等を提供している。そして面会に見えたことを、利用者と共に喜んでいる		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	店内でお買い物中や、家庭菜園で収穫中に馴染みの方から声をかけられたり、お見舞いにホームに来ていただいたりする。馴染みの場所や、馴染みの人の支援を心掛けている		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	喜びや楽しみを一緒に共有しあうようにしている。カラオケ・ドライブ等を通じて会話や、交流を深めている。又2ユニットを利用し、性格などを考慮し、グループを組んでいくように努めている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入院などをされて契約が修了しても、職員が代わる代わる面会に伺い、家族と共に励ましあっている。いつまでも大切な人たちです		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	お一人お一人の「やりたい」か「やりたくない」かの希望を理念に添って察するように努めている。希望や意向がご本人に添っているかどうかはご本人が、ご機嫌かどうかで判断できる		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	常に入居者と話し合いを行い、今までの生活環境の把握に努めている		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一方の利用者の介助をしながら他の入居者の動向を伺い、声かけしながら総合的に、現状を把握するように努めている		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	1ヶ月に1回の勉強会で利用者の報告を行い、意見交換をして、介護計画に生かしている		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入居者の心身に異変を察知した場合は、即時主治医と、家族に連絡を取り合い、相談、報告を行い、現状に即した新たな計画を作成している		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日個人の個別記録にバイタル、入浴時の異変、尿・便の回数・食事摂取量等、体調の変化を日中・夜間の別なく、具体的に記録している。申し送りノートも活用している		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族と主治医の要望により、リハビリを受けたり、ドライブで名所巡りをしたり、家庭菜園で野菜を収穫したり、事業所の多機能性を活かした支援をしている		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	行事ごとに、民生委員・区長・ボランティア・消防署員等の協力を得ている		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	町の地域ケア会議に参加し、情報交換をおこなったり、町内の事業所と連絡をとりあったりして、他のサービスを参考にしている		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	サービス担当者会議に出席したり、地域包括支援センター主催の研修会には、必ず参加し、協働して動いている		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的にかかりつけ医を受診し、相談・指示をいただいている。 事業所母体が医療機関で診療科目が多く、認知症利用者に充分対応していただけるので、適切な支援ができる		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	「いけません・できません・だめです」は、禁句としている。また幼児言葉も使わないよう、研修や助言を行っている	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	ドライブ・カラオケ・買い物等本人達のしたい事、行きたいところ、食べたい物等の希望を聞いて、行事の中に取り入れて支援している	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	自分が何をすればよいのか分からない利用者には、やさしくお手伝いや、カラオケの仲間入り等促している。希望のある利用者には、それに添った支援をしている	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	かかりつけの美容院でカット、髪染めをしてもらい、週に1回は、お化粧品を楽しんでいただいている	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	個々にあった調理、皆でできる調理(落や竹の子の皮むき等)を職員と共に話し合いながら行う事で支援している	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	嗜好調査に基づき提供出来る物を提供し利用者と職員で楽しんでいる	○ 20年4月より嗜好調査に取り組んでいて、成果をあげていると思うのでもう少し調査表を工夫し実施したい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄時のパターンを把握し、一人ひとりの排泄状況をチェックし昼夜を問わずトイレ誘導、声掛けを行っている		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回の定期的入浴日を決めているが、その日の希望・要望にてほとんどの方が毎日の入浴を楽しんでおられる		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	なるべく昼間の活動の場をつくり、1日の生活のリズムを整えられるよう支援している。各自の体調の変化を観察し、無理をしないで穏やかに過ごせる環境作りを支援している		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	常に言葉掛けを行い若い時の生活歴を聞きだしながら得意なところを頼ったり励ましたりの支援をしている		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	必要な時は共に買い物に外出し、個人で支払えるようお金を持っていただいて、支払もご自分でして頂いている		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	週の土・日には、ドライブを計画し希望者の多い名所地に案内している。その他季節の行事の花見や祭り見学も行っている。又月に1回以上、外食も計画実施している。平日のお買い物には、利用者のご様子により、ご一緒していただいている。又、ほとんど毎日母体事業所の中庭や、カフェルームにでかけている		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	土・日は、ドライブに行き、目的地は利用者の希望や意見を取り入れて決定するように、又家族が「買い物や墓参り等と一緒に連れて行って下さる等の機会をつくっている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者の要望に応じ家族との電話対応で落ち着かれる為、自由に利用して頂いている。意志疎通の図れない人でも、家族の声を聞く事で満足される方が多い。手紙のやり取りは、ほとんど全介助で支援している		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ほとんど毎日のように家族、知人の訪問がある。ホールや居室を開放し、職員は感じよい体制を心掛け、お茶菓子の提供を行っている		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は一切行っていない		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は、自由に入出りできるようにしているが、頻回に出たがる利用者がいて、職員の目が届かない時には、センサーで対応している		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	昼間は、皆ホールに集まり、台所は対面式で常に所在や様子観察を行い、夜は、必要性がある人には、センサーや、鳴り子で安全対策を行っている		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険物(薬や、洗剤、刃物)等の物品は、保管場所が決められ、管理方法も明確になっている		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	定期的な勉強会で転倒、窒息、誤嚥、徘徊を防ぐ為の知識を学んでいる。火災に関しては、年2回の防火訓練と避難誘導に取り組んでいる		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	事故災害時マニュアル・緊急連絡体制マニュアルを作成して 定期的に訓練を行っている		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の消防訓練、避難誘導訓練を実施し、その度に日頃より交流を深めている地域の人々の協力をお願いしている		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	現在の状況を随時家族に報告、相談して対応策について一緒に話し合う機会を設けている		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝バイタルチェックを行い、体調の変化や異変に気付き、再度検温、状態を把握して主治医との連絡、家族への連絡、報告を行い申し送りをし様子観察を行っている		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬についての研修会を開催し、全員参加して、目的や、副作用の理解に努めている		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘時には、薬にばかり頼らず、水分補給や植物繊維の多い調理を勧めたり、体調の良い人には散歩やリハビリを促している。それでも便秘気味の人には、主治医と家族と相談の上、頓服薬として下剤を処方してもらっている。排便チェック表で管理している		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後の義歯洗浄・うがい・週1回のポリデントで対応し一人ひとりの残存能力を生かし、出来ない部分のみを介助している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分補給は各自の量を把握していて、定時(10時・15時・夜間)以外にも容器を準備していて声かけしている。食事摂取時は、本人の能力に応じて見守りや、介助を行い、変化があった場合は申し送りをし、調理内容と共に毎回記録している		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	母体病院と合同で感染症予防についての研修会が定期的に行われ、予防対策として手洗いやうがいが行われている。インフルエンザの予防接種も全員受けている。肺炎球菌ワクチン接種も対応している		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	母体の病院で実施される衛生管理研修会に職員が参加して指導を受けている。新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	ホームの玄関に通じる入り口が車道に面しているため交通事故等の危険性を回避する為アコーディオンフェンスを設置したところ、家族・近隣の人たちは安心して出入りが出来ること、親しんで下さっている		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	空気のよどみがなく、換気が行き届いている。採光や照明、冷房の温度調節も適切で、テレビやカラオケの音量等注意したりしている。 季節の花を生けたり、植栽してやすらぎの空間を設けている		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを用意し、テレビ観賞や談話などをしていただけるよう、各自の性格・状況に配慮した場所の確保に努めている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを 活かして、本人が居心地よく過ごせるような工 夫をしている	愛用・愛着のある物を自由に持ち込んで頂いている。 大切な仏壇を持ち込んでいる利用者は、毎朝の水替えが日 課となっている	○	お泊りの家族は本人の居室で気楽に過ごせる体制を家族 と本人で工夫されている。(足りない物は、無料で貸し出し ている)
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換 気に努め、温度調節は、外気温と大きな差が ないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめ に行っている	居室、廊下の窓を開けて空気の入替えをこまめに行い、冷 暖房は利用者の意向と外気温にあわせて温度調節を行って いる		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かし て、安全かつできるだけ自立した生活が送れ るように工夫している	館内は全てバリアフリーで必要な個所には手すりを設置して いる。 室内は家具の配置を考慮し、歩行などの支えになっている。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失 敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫してい る	自室の入り口には、写真入の表札を掲示し、部屋を間違えたり しないように、又常に整理整頓を心掛け落ち着いた雰囲気 で過ごせるように工夫している		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだ り、活動できるように活かしている	中庭は広く自由に出入りが出来、洗濯物を干したり、散歩を したり、 花植え、水遣り、庭掃除など職員と共に、活動している		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように
		<input type="radio"/>	②数日に1回程度
		<input type="radio"/>	③たまに
		<input type="radio"/>	④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている
		<input type="radio"/>	②少しずつ増えている
		<input type="radio"/>	③あまり増えていない
		<input type="radio"/>	④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/>	②職員の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③職員の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	②家族等の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③家族等の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

国富町の中心地に近い母体の病院が隣接する利便性が良好な場所に位置し、「私達は、マザーハウスにおいていただいた方々の声なき声を聞き、見えないところを察して安心できるやすらぎの場所をつくります。」の高い理念を置き入居者と職員と一緒に・ゆっくり・楽しく暮らせるように常に明るくやさしい職員と一緒に幸せな生活を過ごしている。又母体の病院が隣接している事から、気軽に健康面の相談やリハビリを受けることが出来、身体機能の維持向上に前向きに取り組んでいる。地域の老人クラブが主催する各種教室に参加したり、遊びにきたり立ち寄ってくれたり、ボランティアの受け入れ等、地域との交流を積極的に行っている。職員の献身的なケアと笑顔に支えられ、入居者は元気で生き生きと表情も明るい。